

## 第1回山形県総合政策審議会の概要について

5月19日（火）に「第1回山形県総合政策審議会」を開催し、その状況は以下のとおり。

### 1. 運営体制

会長：柴田洋雄氏（美しい山形・最上川フォーラム会長、放送大学山形学習センター所長）

その他は「別紙1」のとおり。

### 2. 意見交換

「県勢を取巻く現状と課題」（別紙2及び別紙3参照）について、各委員による幅広い視点からの意見交換が行われ、その概要は以下のとおり。

#### （1）人口減少の抑制や地域教育力の強化

- ・ 若者の流出抑制や子育て環境整備などを通じ、人口減少の抑制を重視していくべき。
- ・ 学校を核に地域全体が一体となって子ども達を育成する視点が重要。

#### （2）生活を支えるセーフティネットの構築

- ・ 若者等の生活の基盤となる雇用面などのセーフティネットの構築が重要。
- ・ 病院と開業医の連携や介護予防など地域の公的な福祉・医療基盤の強化が重要。

#### （3）農林水産業の生産力強化と産業連関による付加価値向上

- ・ 販売のみならず、農業生産基盤をより強固なものとしていくことが重要。
- ・ 各産業の知見の統合により付加価値を高め、地域経済の基盤たる農業を再生すべき。

#### （4）環境対応の視点に立った社会の仕組みづくり

- ・ 低炭素社会の実現に向けて、社会経済システムとしての環境対応を進めるべき。

#### （5）県づくりの方向性の検討

- ・ 国土形成計画と比較し、現計画の不足事項を県づくりに反映させることが必要。
- ・ 急激な情勢変化を踏まえ、総合計画の見直しを含め、県づくりの方向性をあらためて検討することが必要。